



平成 17 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 シーシーエス株式会社
(URL <http://www.ccs-inc.co.jp/>)
代 表 者 名 代表取締役社長 米田 賢治
(コード番号 : 6 6 6 9)
問い合わせ先 取締役 管理本部長 和田 浩興
(TEL : (0 7 5) 4 1 5 - 8 2 8 0)

(一部追加)平成17年7月期 中間決算短信(連結)

平成17年3月14日に発表いたしました「平成17年7月期 中間決算短信(連結)」の「3.経営成績及び財政状態」の項に、下記の内容を追加させていただきます。

記

3.経営成績及び財政状態

(3) 財政状態

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前中間純利益が164,677千円(前年同期212,801千円)計上したことや、売上債権の減少、減価償却費の増加があったものの、たな卸資産の増加や有形固定資産の取得による資金の減少により、当中間連結会計期末には、前年同期に比べ182,839千円増加し、370,697千円(前年同期187,858千円)となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動により得られた資金は39,136千円(前年同期19,490千円支出)となりました。これは税金等調整前中間純利益が164,677千円、売上債権の減少202,366千円があったものの、たな卸資産の増加88,968千円、仕入債務の減少68,917千円、法人税等の支払額199,833千円等によるもので前年同期に比べ58,626千円増加しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は217,920千円(前年同期389,326千円支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得156,753千円、新規連結会社でもありますRDV(S)PTE LTDの株式取得による支出44,003千円によるもので、前年同期に比べ171,405千円減少しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は2,483千円(前年同期441,426千円収入)となりました。これは主に株式発行による収入35,040千円があったものの、配当金の支払額29,700千円等によるもので前年同期に比べ443,910千円減少しております。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	平成 15 年 7 月期	平成 16 年 7 月中間期	平成 16 年 7 月期	平成 17 年 7 月中間期
自己資本比率	53.3%	51.7%	66.1%	70.9%
時価ベースの 自己資本比率	-	-	941.4%	830.7%
債務償還年数	10.2 年	-	10.0 年	10.5 年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	6.3 倍	-	4.7 倍	10.3 倍

自己資本比率：自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

債務償還年数：有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー / 利払い

いずれも連結ベースの財務数値より計算しております。

キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

以 上